

清流通信「四万十川物語」

第59章（平成13年12月10日）

送信者：高知県 四万十川流域振興室

TEL：088-823-9795 FAX：088-823-9296 E-mail：shimanto@pref.kochi.jp

「四万十川」ここより始まる

清流通信の読者のみなさま、こんにちわ。川は、森を抜きにして語ることはできません。森には、水源のかん養機能、環境保全機能や生態系保全機能があり、四万十川源流点の村・東津野村でも、広葉樹林化の促進等、源流点にふさわしい森づくりを進めています。今回は、この源流点の森に今年8月オープンした「四万十源流センター 森の宿」を御紹介します。

「四万十源流センター 森の宿」

（高知県が管理運営を委託）

所在地：高知県高岡郡東津野村船戸

TEL：0889-62-2127 FAX：0889-62-3620

【ホームページアドレス】です

<http://www.h2.dion.ne.jp/~simanto/inaba.htm>

＊宿泊はもちろん、イベント、研修会など、いろいろな形でご利用いただけます。詳しくは、ホームページを御覧ください。

＊実施予定の事業

森林ボランティアによる間伐
森林での環境教育 など

＊林業教室

林業指導者養成のための入門教室。
5泊6日で、平成14年3月に実施予定。

＊森の案内（エコツアー）

森の機能を理解してもらうための源流点、不入山（いらすやま）などへのツアー実施。

首都圏からの参加者を案内して、今年11月、源流センターがエコツアー「四万十源流ウオーク」を実施しました。以下は、ガイドボランティアによる体験レポートの一部です。

…沢蟹が濡れ落ち葉を歩く。苔むした岩達が
守り神のようにそこそこに頑張っている。
大岩を抱くように大樹がそびえ、ひとしきり
見とれる人たち。もうひとがんばり、で
「四万十ここよりはじまる水」（源流点）に
たどり着く。いろいろなものに守られて
そこにあるような、やさしい穏やかな水だ。
…



【写真は四万十川源流】

その地域固有のゆっくりとした時間を過ごし、自然の中で五感の全てを使うことで、自分が自然の一部であることを感じたり、人と自然、歴史、文化との関わり方を、改めて考える機会が生まれます。このような経験することが、「こんなに楽しい経験ができる場所だから守らなければ」という、四万十川保全の意識につながっていくのではないのでしょうか。

流域のエコツアー

次の施設でも、四万十川流域のエコツアーを体験することができます。

- ・ **四万十楽舎**（西土佐村 TEL：0880-54-1230）
自然体験・原生林や溪谷での森林散策（アニマルトラッキングなど）
- ・ **砂浜美術館**（大方町 TEL：0880-43-4915）
四万十川中流から海までのツアー。森と川と海のつながりを体験します。